

幸七

どこかで笑えますか
笑顔になつてくれませんか
さて、今日も厄を集めに笑いますか
疫病神がうちになんの用だ！

『好き』は『幸せ』とは違うんじゃないかな？

私はあなたに幸せ？
……

「みんなが幸せなら、私は幸せ」

一人の少女が呟く。

誰かに言ったわけでもなく、まるで自分に言い聞かせるように。

「みんなが幸せなら、私は幸せ」

また少女が呟く。

少女の目尻に水が溜まる。

「みんなが幸せなら……私は幸せ……」

呟く度に、少女の目尻に水が溜まる。

「みんなが……幸せなら……私は……幸せ……」

弾けた。

頬を伝って水が流れる。

私は泣いているの？

彼女が自分自身に問う。

私はみんなが幸せである事が幸せなのに。

何故泣いているの？

「そんなこと分かっているでしょ？」

私が口を開く。

「みんなが幸せでも、私は幸せにはならない」

口から出る言葉はまるで別人のよう。

いや、別人だった。

いつの間にか彼女の前には同じ背格好の少女がいた。

「そんな事ないわ……」

「そんな事ない事がいいわ」

「私は、みんなが幸せなら幸せよ……」

「じゃあ今、あなたは幸せなのかしら？」

「どういう事？」

「人間に投げられた石で頬から血が流れたり」

頬を触ってみる。

手には紅い血が着いていた。

「砂を掛けられて、衣服がドロドロになったり」

服を見る。

衣服には砂や泥が着き、無惨だった。

「本当にあなたは幸せ？」

「私は……」

幸せ……？

あとがきのようなもの

ここまで読んでくださり、ありがとうございました！

サークル『いろえんぴつ。』のさくらです。

今回、風神録の厄神様、雛の合同誌に参加しました！

人気結果では25位とまずまず。これからもランクアップ間違い無しです！

~~~~~

今回は、厄に反する『幸せ』というものについて書かせて頂きました。

自分たちが持っている、別々の、心があつたかくなる

もの。

身近で分からなくて、失ってから気付く、不思議なもの。

皆さんが読んで、自分の『幸せ』とは何か、考えてみてくださいさるとうれしいです。

それではこのあたりで！

さくら

\*奥付的な何か\*

寄稿作品… 雛山雛合同誌『幻想郷の中心で厄がくるくるっ！』

初版… 第八回博麗神社例大祭(2011/3/13)・I-50a 『雛山雛合同誌実行委員会』

発刊… かな屋敷様、すいくと・らびーぬ様